



令和7年3月17日
第511号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

力強く生きる、助け合って生きる～白鳥から学ぶ～

校長 飯塚 進

白鳥は、冬が近づいてくると日本に来て、春が近づいてくるとシベリア地方に移動します。その移動距離は3000 kmから4000 kmで、北海道から沖縄までの距離を超えます。その長い距離を移動する際、英語のVの字を反対にした形になって飛びます。いわゆるV字型飛行です。それは、風の抵抗を少なくする工夫だそうです。しかし、先頭の白鳥は最も風を受けるため、かなり大変になることが予想できます。その先頭を飛ぶのは、やはりその集団のリーダーなのでしょう。覚悟を決めての先頭だと思います。そのため、力強く飛ぶリーダーには威厳を感じます。子どもたちも、普段の生活の中で、また、これらからの生活の中で、リーダーとしてみんなをまとめることがあります。力強くみんなをまとめる力を身に付けてほしいと思います。

しかし、先頭を飛ぶリーダーの白鳥は最初から最後までリーダーとして先頭を飛ぶわけではないようです。途中で違う白鳥に先頭を代わってもらうのです。たぶん疲れたり、もう苦しいと感じたりした時には、ほかの白鳥に助けを求めるのではないかと思います。しかも、最後まで先頭に立たない白鳥は一羽もないという研究結果もあるそうですから、先頭のリーダーの大変さに気づき、みんなで助け合っているとも考えられます。

子どもたちのこれからの人生は、3000 kmとか4000 kmなんていうものではありません。もっと長く、しかも、青空だけではなく、雨の日、風の日、凍えそうな寒い日であるでしょう。しかし、子どもたちは一人ではありません。家族がいます。友達がいます。先生がいます。頼ればいいのです。助けを求めればいいのです。喜びも悲しみも分かち合えば、喜びは2倍、悲しみは半分になります。何か一人で悩みを抱え、苦しくなった時には、白鳥を思い出し、誰かに助けを求めてほしいと思います。誰かに助けを求めることは、生きていくうえで大切な力の一つです。必ず誰かが助けてくれます。

令和6年度が終了します。今年度も様々なことがありましたが、子どもたちが大きく成長した1年間でした。これも、保護者、地域の皆様のお力添えのおかげです。感謝申し上げます。ありがとうございました。一人一人の子どもたちが、進学、進級し、それぞれのステージで、より一層充実した時間を過ごしてほしいと願っています。